

研究奨励賞を受賞して

慶應義塾大学医学部形成外科

石井 龍之

この度は研究奨励賞という栄誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。ご指導いただいた先生方、研究協力者の皆様には心より感謝申し上げます。

今回、受賞の対象となった研究は、イモリの特異な再生力を医療に応用するという挑戦的な研究テーマのうちのひとつでした。再生医療というと、まずiPS細胞などの幹細胞研究を思い浮かべる方も多いと思いますが、我々は再生できない哺乳類から一旦離れ、既に完全な再生力を持つ生物達に解決の糸口を見出しました。とりわけイモリの再生力は、実験動物学の祖であるラザロ・スパンツァーニが、「なぜイモリだけがこのように卓越した再生力を持つのか」と疑問を投げかけているように、1700年代から注目されていました。そして、250年以上経た現在にいたってもなお、そのメカニズムの詳細についてはほとんどわかっておらず未だに謎の多い生物です。我々はこの謎めいたイモリの再生力にこそ、ブレイクスルーとなるような発見があるのではないかと注目し、医療に応用するための探索研究を行ってきました。今回栄えある賞をいただくこともできましたが、そこに至るまでには、地味で大変な道のりがありました。不慣れなイモリの飼育方法から学ぶ地道な作業の積み重ねや、情報量の少なさからくる不安や困難を伴うことも多々ありました。それだけに、今回の受賞は今後研究を続けていくための大きな励みとなるだけでなく、ひとつの研究テーマとして認めていただけたような感覚もあり、大変嬉しく思いました。まだまだ未熟な臨床家、研究者ではありますが、ますます専心して臨床・研究の道を這いつくばって進んでまいります。この度は本当にありがとうございました。

局所低周波振動刺激による糖代謝と血管拡張／新生を介した糖尿病ラット全層欠損創治癒促進効果の検証

東京大学大学院医学系研究科
老年看護学／創傷看護学分野

幅 大二郎

この度は、第52回日本創傷治癒学会にて研究奨励賞という大変名誉ある賞を賜り、身に余る光栄に存じます。これもひとえに、振動シーズの開発者である真田弘美名誉教授、仲上豪二郎教授をはじめとする皆様のご



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会

2023.03

No.134

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail : info@jswh.com

URL : <https://www.jswh.com>

指導ご鞭撻によるものであり、この場を借りて御礼申し上げます。また大会長の須釜淳子教授、選考委員会の先生方、事務局の先生方に深く感謝申し上げます。

受賞いただいた研究は、糖尿病足潰瘍の治癒促進のため、創部での糖代謝と血流を改善し、個々の糖代謝機能と血管拡張能に応じて振動強度を自律的に最適化するインテリジェントバイブレーションドレッシング材開発の基盤となっています（特願2022-107292）。これまで局所低周波振動刺激による皮膚血流促進効果（Nakagami et al., 2007）や褥瘡の治癒促進効果（Arashi et al., 2010）について公表されてきましたが、褥瘡以外の創傷における効果は不明でした。本研究は、高血糖ラットモデルにおいて局所低周波振動刺激によるAMPK活性化を介した非インスリン依存性糖取り込み促進効果（Haba et al., 2021）と、高血糖ラットモデルにおける創傷治癒促進効果を示した初めての報告となり、最適な振動設定により局所糖代謝を改善することで糖尿病性創傷の治癒を促進する新しい治療戦略を提示しました。この研究プロセスは看護理工学におけるリバーストランスレーショナルリサーチの手法に基づいており、将来的には低周波振動刺激を用いた新しいセルフケアデバイス機器を開発し、社会実装を目指しております。

引き続き、創傷治癒を基盤とした更なる研究の発展ができるよう邁進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。この度は誠にありがとうございました。

■ 一般社団法人日本創傷治癒学会 令和5年度(2023年度) ■

2022年11月19日に名古屋にて開催された令和5年度社員総会（評議員会）における決議にて、以下の通りの役員および新評議員5名（*印）が承認されました。

新体制の下に学会のさらなる発展のため邁進していく所存ですので、会員の皆様にはますますのご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

理事（*：理事長） (14名)

青木茂久	貴志和生	木山輝郎	紺家千津子	佐藤道夫
須釜淳子	竹内裕也	西本聡	松崎恭一	松村一
水野博司	峰松健夫	*吉田昌	和田則仁	

監事 (2名)

館正弘 宮澤光男

評議員 (72名)

*赤瀬智子	青木茂久	秋田定伯	秋野公造	朝戸裕貴
荒牧典子	石澤美保	石瀬久子	石田裕子	猪股雅史
大江真琴	大貝和裕	荻野晶弘	大島秀男	大西俊介
大野真司	岡崎悌之	荻野部圭介	小川雄光	*貝谷敏子
金城龍学	菅野恵美	貴志川兼道	北川藤稔	*北村千津子
木山輝郎	桐木園成	清坂須釜	近藤岡孝	紺家野仁
賀司珠也	酒井裕也	武須釜田	*住竹寺西水	佐高館土
島田弘弥	竹内泰二	丹中松	寺野博亮	藤井松永
高田中佐	上豪恭正	*向井加奈	西水森吉	峰守吉
土佐重澤	松本根田	杠	森吉	守吉
前宮森四	宮山和			
森谷淳	和田則			

(敬称略・五十音順)



漢方は、自然から。

漢方は、たくさんの人の手と想いを経て生まれます。

長い年月をかけて、樹木が豊かな山を育み、その山で水が蓄えられる。

山で磨かれた水が、生薬をつくるための畑に注がれ、
生産農家のみなさんによって大切に育てられる。

人が本来持っている自然治癒力を高め、生きる力を引き出すことを目的とした
漢方にとって、「自然」はいのちを強くする力そのものです。

その力をそこなうことなく、すべての人が受け取れる形にして届けたい。
そして健康に役立ててほしい。

100年以上、自然と向き合いつづけてきた私たちツムラの願いです。

自然と健康を科学する。漢方のツムラです。



www.tsumura.co.jp

資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
【医療関係者の皆様】0120-329-970 【患者様・一般のお客様】0120-329-930
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)